

Fons Sapientiae

仙台白百合女子大学図書館報 「フォンス サピエンティアエ」



No. 19
2019.4.1

Contents

- ・ 図書館導入のデータベース等の紹介
- ・ 推薦図書
- ・ 新着図書・CDの紹介
- ・ 図書館からの報告
- ・ 教員の近刊著書の紹介
- ・ 2018年度図書館関係会議・研修会等報告



図書館導入のデータベース等の紹介

図書館では、利用者の利便性をはかるため、数々のデータベースを導入しています。データベースとは使い易いように整理された情報の集まりまたはそのシステムのことを指し、特定の情報を蓄積し、検索して引き出せるよう工夫されています。学内であれば、図書館のホームページから色々なデータベースが使えるようになっています。以下に図書館導入の主なデータベースを紹介します。

○論文や雑誌記事の検索ができます



CiNii Articles (サイニイ・アーツィクルズ)

国立情報学研究所が提供する学術論文情報を検索の対象とする論文データベース・サービスです。検索結果の一覧にオレンジ色のボタンがあり「J-STAGE」「機関リポジトリ」となっているものは、全文閲覧可能です。各大学図書館の所蔵や書誌情報が検索できる「CiNii Books (サイニイ・ブックス)」もあります。



ざっさくプラス

明治時代から現在までに刊行された、全国誌から地方誌までの雑誌記事が統合的に検索できます。国立国会図書館の「雑誌記事索引」にはない1948年以前の記事を検索できるよう、過去における雑誌記事索引類を集大成して刊行された『明治・大正・昭和前期 雑誌記事索引集成』をもとにしたデータベースです。



日経BP記事検索サービス アカデミック版

日経BP社が発行する雑誌記事、企業や官公庁／地方自治体の発表するリリースなどを、オンライン上で検索・閲覧できるサービスです。雑誌記事はテキスト版(本文のみ)またはPDF版(記事全体・雑誌イメージそのまま)で閲覧できます。就職活動の情報収集に役立てたり、論文、レポートを書く際の参考とすることもできます。



メディカルオンライン

日本国内の学会・出版社発行の雑誌に掲載された医学、歯学、薬学、看護学、医療技術、栄養学、衛生・保健などのあらゆる医学関連分野の「医学文献」から検索し、必要な文献はその場で全文閲覧・ダウンロードが可能です。医学関連の情報検索サービス「医学中央雑誌Web版」の検索結果からもリンク可能です。

○新聞記事を検索・閲覧できます



朝日新聞 閏蔵 II ビジュアル

1945年から当日の朝刊までの朝日新聞の記事と、「週刊朝日」、「AERA」、「知恵蔵」、「人物データベース」が検索・閲覧できます。朝日新聞の記事を検索すると、テキストファイルとイメージがあり、イメージを選ぶと、新聞と同じレイアウトの記事を見られ、印刷することもできます。



ジャパンナレッジLib

「日本大百科全書」「日本国語大辞典第2版」「日本歴史地名大系」などの辞書・事典のデータベースに加え「会社四季報」や「東洋文庫」など多彩なコンテンツをもつ知識情報探索サイト。インターネット上の情報と違って、信頼性のある情報源から取られた優良コンテンツが満載されていますので、レポート等に最適なデータベースです。



河北新報データベース

1991年8月から前日まで、河北新報に掲載された記事を中心にしたデータを検索・閲覧できるデータベースです。東北6県のきめ細やかな地域ニュースはもちろん、国際、国内のニュースも収録しています。全文テキストファイルのほか、新聞掲載記事そのままのイメージで閲覧でき、印刷することも可能です。

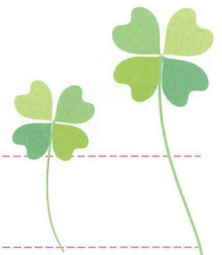


BOOK PLUS

昭和元年より現在までに出版された本、絶版書を含み、約332万件の図書情報を収録しています。1986年以降の本には、内容・目次情報、小説のあらすじを収録、2000年以降の本には、著者紹介情報も掲載しております。最近の2週間の新着情報も掲載しており、図書情報を知るのに便利なデータベースです。

※この他にも、電子ジャーナルや電子書籍も、学内であれば図書館のホームページから閲覧可能となっていますので、是非一度使ってみてください。不明な点があれば図書館スタッフにお聞きください。

新着図書・CDの紹介



『新宿の猫』 ドリアン助川 著 ポプラ社



フリーの構成作家だがなかなか芽の出ない主人公「山ちゃん」は、ある時徹夜でクイズ問題を50問つくるのですが、使い物にならないと49問はクズ籠に捨てられ落ち込んで、新宿ゴールデン街の小さな居酒屋に辿り着きます。この店では、小さな窓から見えるブロック塀の上に顔を出す野良猫がどの猫かを賭けて、負けた方がおごるといったささやかなギャンプルが行われていたりします。主人公は、その店で野良猫をかわいがる「夢ちゃん」という女性店員に出会い、客には不

愛想ですが不思議な優しさを秘めた彼女ににやけていきます。ふたりは猫についての秘密を分け合い、大切な約束をするのですが、ある事件によって引き離されます。それから時間が経ち、お互いに白髪になってから久しぶりに再会し「夢ちゃん」の当時の胸の内がやっとわかり、主人公の現在ともあいまって深い感動がこみ上げてきます。作者のやさしさが読み終わった後もじんわりと伝わってくる、冬空に瞬く名もなき星のような物語です。

『学校の「当たり前」をやめた。：生徒も教師も変わる！公立名門中学校長の改革』 工藤 勇一 著 時事通信社



宿題を出す目的は、「子どもの学力を高めること」「学習習慣をつけること」とされていますが、その目的は本当に達成されているのでしょうか？宿題はただこなすだけになっていませんか、といった出だしから内容に引きこまれます。子どもたちに必要な力をつけるための「手段」である学習指導要領や教科書が「目的」となり消化してこなす対象となってしまう、このような「目的の手段化」は学校の至るところで見られるようになっていてと著者は述べます。この本

では、子どもたちが「社会の中でよりよく生きていけるようにする」ために「自ら考え、自ら判断し、自ら決定し、自ら行動する資質」すなわち「自律」する力を身につけさせていくために、宿題を廃止し、クラス担任も廃止して学年の教員の全員担任制を取り入れ、中間・期末テストも廃止した、千代田区立麹町中学校の校長工藤勇一氏による学校のリ・デザインの実践が語られています。現代の日本の教育に必要なのは何か、改めて考えさせられる図書です。

『小学生のための心のハーモニー ベスト！ CD10巻』 JVCケンウッド・ビクター・エンタテインメント



1巻目の「入学式・迎える会の歌」に始まって10巻目の「楽しい音楽会の歌③」まで、小学校における音楽活動で耳にする歌が、たくさん詰め込まれています。「八千代少年少女合唱団」や「池田ジュニア合唱団」をはじめ、さまざまな合唱団の合唱でいろいろな歌が聴けるとともに、カラビアノの伴奏が入っているのでそれに合わせて歌ったりする

こともできます。小学校の音楽集会・朝会の今日の歌、合唱コンクール、行事といった様々な催しの際に使われる、音楽会などの選曲に最適なラインナップが揃えられています。入学式から卒業式までのレパートリー定番曲・人気曲・新曲をそろえ、小学校での全音楽活動に対応した小学生向け合唱曲集の決定版となっています。

教員の近刊著書の紹介(刊行順)

『作家のまんぷく帖』 大本 泉 著 平凡社新書

グローバル・スタディーズ学科 教授 大本 泉



極度の潔癖症で食べるのがこわかった泉鏡花、赤貝がのどに貼りついて絶命した久保田万太郎、揚げ物の火加減に厳格なこだわりを見せた獅子文六、胃痛を抱えながら酒と薬が手放せなかった坂口安吾など、食べることから垣間見える、作家という生き物の素顔に迫ろうとしました。樋口一葉、内田

百閒、武田百合子、藤沢周平など総勢22人を紹介。この食にして、この人あり——。『作家のごちそう帖』（平凡社新書）に続く、文学史に名を残す作家たちの、個性的な「食歴」の数々をとおして、人間のせつなさ、おもしろさをも新たに発見することをねらったものです。

『音楽と絵画で読むT.S.エリオット』 熊谷 治子 著 彩流社

グローバル・スタディーズ学科 講師 熊谷 治子



まずお手に取って、表紙をごらんください。この絵は、フランスの画家マネの油絵『女とオウム』です。右端に灰色のオウムがいて、その下には皮が半分むかれたオレンジが転がっています。女性は足元まで隠れる薄ピンクのガウンを羽織っています。目線がどことなく思わせぶりです。

じつは、この絵を英語の詩として表現した人がいました。その人の名はT.S.エリオットといます。ミュージカル『キャッツ』の原作者といえば、わかりやすいかもしれませんが、エリオットは一八八八年アメリカのミズーリ州セントルイスに生れ、一九二七年イギリスへの帰化と英国国教会への入信をはたしました。一九四八年ノーベル文学賞を受賞した詩人であり劇作家、そして文学評論家でもあります。

本書は、「現代詩の祖」としても知られるエリオットがショパン、ワーグナー、レンブラント、ゴッダ、マネといった、バロック、ロマン派、印象派の音楽や絵画からの影響をいかに昇華させたかについて論じています。さらに、現代作曲家ストラヴィンスキーらに触発されて、モダニズム文学の

金字塔を打ち立てる、つまり都市の騒音を古代の儀式の聖なる音として詩に歌い込むまでの軌跡も述べました。音楽と絵画という視点に加えて、「音景」（音+風景）という新しい複合的視点から読解した新しいエリオット論ともいえます。

すこし難しい話になってしまいましたが、この本には、四十数点の絵画や楽譜の画像を掲載しています。それらの芸術作品とエリオットの詩を比較し考察したというわけですが、お読みいただくと、裏表紙のマネの油絵『エミール・ゾラの肖像』の男性と表紙の女性は、じつはアダムとイブの表象であり、オウムはふたりの墮落の目撃者ということがおわかりいただけると思います。

エリオットは、第一次および第二次世界大戦が勃発した激動の時代を生きた詩人です。彼の詩を読んでいると、たとえ心が嵐の中にあつたとしても、美しいものを見て感動する心はいつも大切にしようという気持ちになるはずですが、本書に関する内容は、今後の授業や公開講座、パイプ・サービスなどで紹介していく予定ですので、どうぞお楽しみに。



推薦図書

『自警録 心のもちかた』 新渡戸 稲造 著 講談社学術文庫567

人間発達学科 教授 横尾 元意



大正5年10月初版の修養講話集である。書店の棚に見つけて読んでみると、『論語』はじめ中国の古典、『菜根譚』などの日本の教養書から、そして、シェイクスピアからテニスンをも含む英文学、さらに西洋の歴史から聖書の記事にも言及し、その知識の広範なことには感嘆せざるを得ない。

始めの部分で、東京女子大初代学長らしく、女性の今後の智力の発展を期待を込めて語り、今日の状態を先取りしているかのようなのである。また、彼がア

メリカで大勢の前で始めて英語で演説する時、震えが止まらない時のエピソードなど、偉ぶらない人柄が垣間見られる。さらには、武田軍に包囲された長篠城内の味方に徳川の援軍の報を、命を顧みず伝える鳥居強右衛門を取り上げて称え、「真の成功とはその義務とすることをまっとうするにある」と『武士道』の著者らしく述べている。また、アメリカ人の拝金主義についても、客観的で公平な国際的知識人らしい知見を披露している。

『蒼穹の昴』 浅田 次郎 著 講談社

心理福祉学科 講師 結城 裕也



時は中国清朝末期。主な登場人物は、貧しい糞拾いの少年・春児、地方郷土の次男坊・梁文秀、そして清朝の権力者・西太后である。この小説は、主人公の春児が奇妙な占い師から「都で西太后の財物を総て手に入れることができる」という占いを告げられるところから始まる。また梁文秀も「皇上に仕えるが、苦勞が待ち受けている。誇り高く生きよ」と告げられる。占い師のお告げ通りそれぞれの道で上り詰めていく両者であったが、西太后を加え一つの

道で運命が交差することになる。三者三様の人物たちが、運命に悩み翻弄されながらも、自らが信じた「義」のために必死に生きる様子が心揺る。

今、人間関係や、将来のことで悩みを抱えている人に是非読んでもらいたい。本作を読むことで生きる活力が湧くこと請け合いである。この作品の魅力を400字以内で語ることは困難であり、文才の無さを露呈するものであるが、それほど不朽の名作であることをご理解いただきたい。

『宇宙で唯一の自分を大切にする方法』 山川 亜希子 著 角川文庫 健康栄養学科 教授 佐々木 裕子



試験が終わると、よく「私なんて」という言葉を聞きます。そんな皆さんに読んでもらいたい本をご紹介します。

この本は、親や先生に褒められようと優等生だった少女時代や、周囲に認められたくて自分にも部下にも厳しかった会社員時代を経て、山川さんが自分を大きく変えていった勇気のお話です。

自分を押し殺していたこと、自分を嫌いだったことを認めたアメリカでの出来事を通して、「自分

という大切な存在」に気付いていく過程がとても感動的に綴られています。大学時代は、様々な体験をします。しかし、この本の中の「ポジティブもネガティブもない、体験があるだけです」という部分に私は惹かれました。

限りない可能性をいっぱい抱えた学生の皆さんへ、人生の秘密が随所に書かれています。また、傷ついている友人へ送る愛のメッセージにも、きっとなることでしょう。

『有名すぎる文学作品を10ページくらいの漫画で読む』 ドリヤス工場 著 リイド社 グローバル・スタディーズ学科 講師 熊谷 治子



この本は日本テレビ系列の「世界で一番受けたい授業」という番組で、芥川賞作家の又吉直樹氏により紹介されたものです。史上もっとも肩の凝らない文学ガイドとも言われるほどの人気です。同シリーズとして「定番すぎる文学作品…」や「必修すぎる文学作品…」があり、これらもあわせて読んでいただきたい本と言えます。

古今東西の名作が、妖怪漫画家として有名な水木しげる氏の画風で描かれています。変に美化されていないのがポイント。等身大の自分と重ね合わせて感情移入がしやすいのです。取り上げられた文学作品は、フランツ・

カフカ『変身』、トルストイ『イワンのぼか』、アンデルセン『雪の女王』、芥川龍之介『羅生門』、森鴎外『舞姫』などです。

これらの漫画をきっかけとして、感受性の豊かな大学生のうちに、原典にもふれてみることをおすすめします。味読した文学作品の数々は、教養を深めてくれるだけでなく、自分探しや自分磨きの良きパートナーとなってくれることでしょう。人生のさまざまな場面でくり返し読みたくなるようなお気に入りの作品に、みなさんがめぐり逢うことができますように。

図書館からの報告

報告

(1) 図書検索ミステリーツアー

2018年度は、10月27日(土)、10月28日(日)と2日間に渡って「図書検索ミステリーツアー」が行われました。こちらは、白百合祭における恒例の図書館企画で、図書館内の図書等を参考にして、館内を巡りながらクイズに回答していくといったイベントとなっています。

今回は図書館のオリジナルグッズの種類も増えましたので、なるべく全問正解者にグッズをもらっていただけるよう、大人用の問題数を10問から8問に減らしました。また、参加賞として例年はお菓子を差し上げていましたが、昨年度好評だった「お菓子のつかみ取り」を行って、自分でお菓子を手に入れる形にしました。

土曜日は午前中の雨のせいもあったのか、参加者が102名と例年より少し少なかったようです。日曜日は参加者が142名と盛況でした。参加者には全問正解賞の賞品として、新グッズの「エコバッグ」や「キーホルダー」が人気でした。また、参加賞の「お菓子のつかみ取り」ですが、小さいお子さんは両手ということもあり、中には袋1つで間に合わず2袋分のお菓子を獲得されていた子どもさんもあり、大変好評でした。

今回、参加者の皆様を書いていただいたアンケートでは、「楽しかった」「本を読み込まなければわからない問題もあり探るのが大変だった」「本が整理されていて調べやすかった」といったご意見や、図書館の印象について「明るくきれいな印象だった」「本の数が多いと思った」といったご感想をいただきました。ツアーの問題については「難しかった」「手ごたえがあった」「簡単でした」と様々なご意見をいただき、多くの参加者の皆様楽しんでいただけるような問題作りの難しさをあらためて感じました。来年度も開催できますよう準備を進めてまいりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。



図書検索ミステリーツアー



お菓子のつかみ取り

(2) データベース講習会

図書館で導入しているデータベースの使い方等を紹介するデータベース講習会は、「ジャパン・ナレッジ Lib」という知識系の統合的なデータベースについて、配給元から講師を呼んで7月2日(月)の3校時と7月4日(水)の3校時目に主に健康栄養学科2年生約60名が参加して行われました。

「ジャパン・ナレッジ Lib」は、約50種類の辞書・百科事典・叢書等をまとめて検索できるデータベースとなっています。基本的操作及び演習問題、ジャパン・ナレッジを活かしたレポートの作成についてパワーポイントを用いて解説がありました。参加した学生は、実際にコンピュータ上で検索して便利な機能を確認したり、また、課題を与えられてそれについて調べるといった作業を通して、楽しみながら講習を受けていた様子でした。



データベース講習会

障がいのある方へ

障がいを持つ方の図書館利用に関する質問や案内、サポート等に対応します。希望する場合は図書館スタッフにお申し出下さい。図書館は、バリアフリー設計となっております。

2018年度図書館関係会議・研修会等報告



本学図書館は、日本カトリック大学連盟図書館協議会及び東北地区大学図書館協議会に所属して、大学図書館間相互の連携によって利用者への利便性をはかっています。

日本カトリック大学連盟図書館協議会は、全国18校のカトリック大学の図書館で構成されており、加盟館の発展や情報交換・相互協力を目指しています。2018年度の総会及び実務研究会は京都ノートルダム女子大学で2018年6月1日(金)に開催されました。総会では、承合事項として、Twitter/Facebook運用、図書館資料購入費の確保、外国人留学生支援、学生からの文献複製依頼への対応、備品と消耗品の登録等のそれぞれについて各館の状況を確認し合いました。

また、実務研究会として、高槻市教育委員会・前高槻市立しるあと歴史館館長、中西裕樹氏による「高山右近」、及びカトリック京都司教区、パウロ大塚喜直司教による「神に導かれた殉教者」と二つの講演会が行われました。日本各地にあり、中々交流の機会が少ないカトリック大学の図書館が年1回顔を合わせて交流をはかったり、情報交換会を行なうことによって、連携を深めて利用者により良いサービスを提供しようということで、大変有意義な会合となっております。



京都ノートルダム女子大学大会議室

東北地区大学図書館協議会は、東北地区の国立大学15館、公立大学12館、私立大学36館の計63館が加盟する図書館協議会で、こちらも情報交換や職員のスキルアップ、相互協力をはかっています。2018年度の総会は東北学院大学土樋キャンパス8号館3階第3・第4会議室で行われました。2018年9月21日(金)開催の総会では、通常の活動報告や予算の決算、次年度の予算案や事業計画(案)が提示され、案については承認されました。また、読書バリアフリー法(仮称)への対応について、図書館独自の収入確保(または経費節減)状況について、の二つの承合事項に対して、各館の状況が確認されました。

総会後、東北学院大学文学部教授・同大学図書館長、佐藤義則氏による講演会「大学図書館コレクションの構図と展望」が行われました。この講演では、デジタルネットワーク時代の現在、出版社と図書館の間で、ウェブ上での情報のオープンアクセス化のプラットフォームを巡る競争が発生しているということ、今後もデジタル化の発展によって、大学図書館の業務に、国内のみならず国際的な連携の重要性がますます高まることが予想される、といったことを解説していただき、大変参考となる講演会でした。



東北地区大学図書館協議会総会

図書館報バックナンバー <http://sslibrary.sendai-shirayuri.ac.jp/>